

議事録

1. 件名：「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」に係る技術検討会（第 1 回）

2. 日時： 令和 5 年 9 月 26 日(火) 14:15～16:00

3. 場所： 鹿島 KIビル 会議室

4. 出席者： 原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門

日比野総括技術研究調査官、藤原技術研究調査官、高松技術参与

東芝エネルギーシステムズ株式会社

パワーシステム事業部 原子力システム設計部 シニアマネジャー ほか 2 名

パワーシステム事業部 原子力技術部 シニアエキスパート

鹿島建設株式会社

原子力部 技師長

原子力部 原子力設計室長

国立大学法人東京工業大学

名誉教授

国立大学法人東京大学

大学院工学系研究科 建築学専攻 教授

5. 要旨：

長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、過去に大きな地震を経験した既設プラントの設備の耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を令和 3 年度から令和 6 年度にかけて計画し、実施している。

当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」事業を実施している。

今回は、当事業に係る第 1 回技術検討会を実施した。内容は下記のとおり。

- ① 東芝エネルギーシステムズ株式会社から、載荷試験結果の速報及び計測データの整理方針について、説明があった。
- ② 載荷試験における鋼板の損傷状況やコンクリートの打設方法、地震応答解析モデルへの復元力特性の反映方法等について質疑があり、議論した。
- ③ 今後のスケジュールについて、確認した。

6. その他
特になし